

ライカ  
Leica 2023年4月トピックス

# より広い範囲を観察したいあなたへ

- 顕微鏡は狭い視野を見るものと思いませんか？
- 顕微鏡観察のためにワークを小さく切断したり、準備に無駄な時間をかけていませんか？

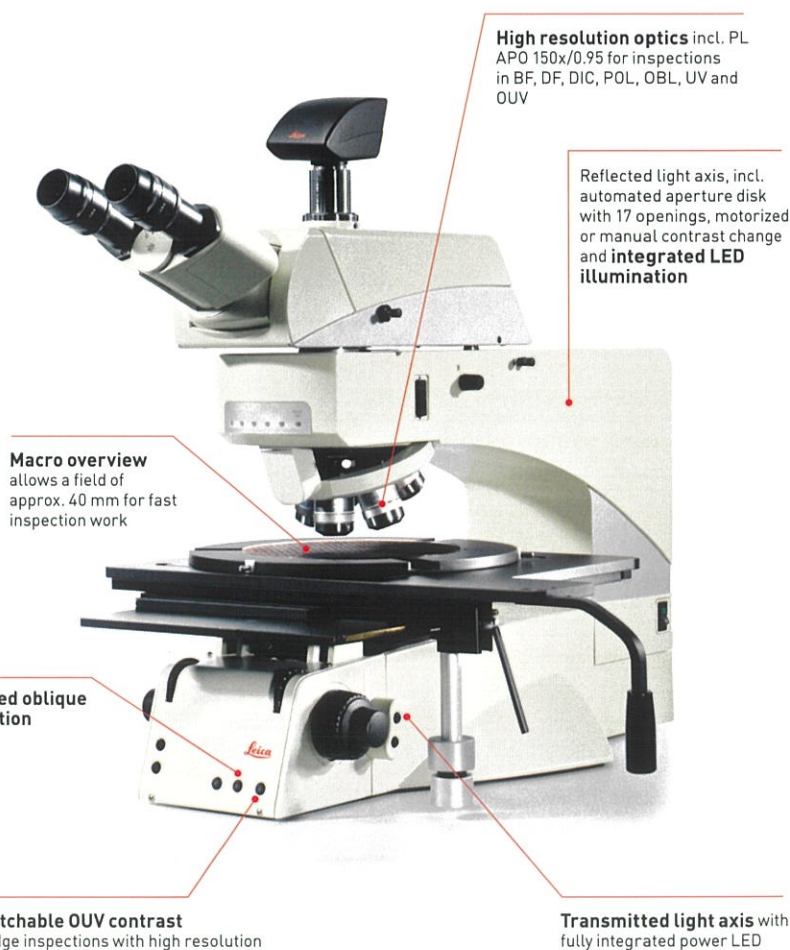
ウェハ

フレキシブル基板

フィルム

金属、鉄鋼断面 …など

マイクروسコープに付属している標準ステージでは小さいため、大型のワークを観察できません。ライカ (Leica) の大型XYステージ付きソリューションは、**大きいワークの全体像 (パノラマ画像)**と小さい対象物の高解像画像を、両方快適、鮮明にとらえます。



## こんなあるある…

### いま、顕微鏡で何番目の素子を見ているか分からなくなった…

ウェハや電子部品など整然と並んだ素子を顕微鏡で検査していると、不良箇所を見つけてもそれが何番目の素子分からなくなる。

### ワーク全体の顕微鏡画像を自動で取得したい…

ワーク全体の画像を保存する場合「画像保存→隣の視野エリアに移動→画像保存→…」と何度も繰り返し、手間と時間がかかっている。

### 不良・欠陥、異物箇所を見つけたら拡大観察したい…

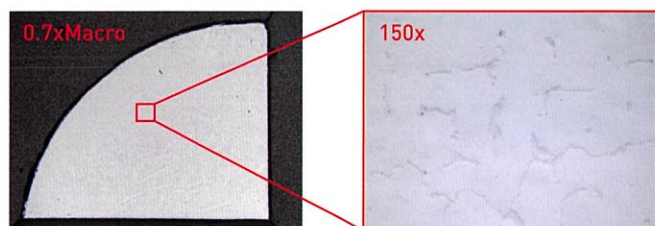
低倍観察で検出した異常を、倍率上げて詳細観察しているが、ステージ移動しているうちに、見失う、フォーカス調整が何度も必要で時間と根気が必要。

## ライカ (Leica) はここがユニーク!

### ◆ 低倍から高倍までの倍率を提供

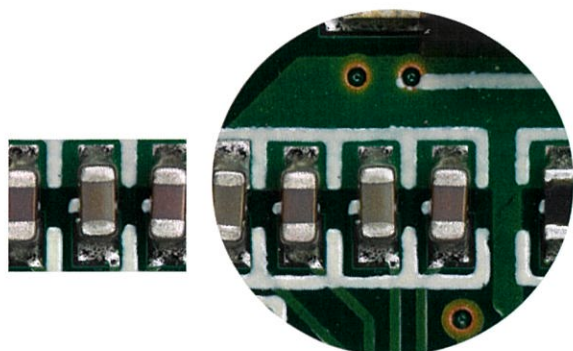
落射明視野、暗視野、微分干渉、斜照明、透過明視野に対応。

- 高解像力観察: 150xUV対物レンズと斜照明組み合わせ。365nmのUVを光源として光学顕微鏡の限界での観察
- 広視野観察: 0.7x対物レンズはライカ (Leica) マイスターによるレンズ設計。低倍なのに周辺収差、色のにじみなしのAPO光学系



### ◆ 広視野&目視ダブルチェック

光学顕微鏡の場合、目視で観察できる視野は、カメラ付き顕微鏡システムで観察したエリアと比べて、面積比で4.5倍も広がっています。(対物レンズ5xの場合) デジタルで見た像を最終的に目で見て確認できます。

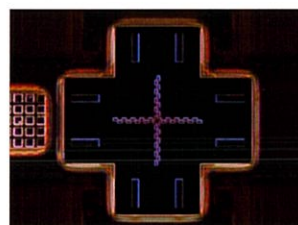


左: デジタルの視野イメージ 右: 目視での視野イメージ



### ◆ 大型ステージ対応

移動量  
150x150mm、  
200x200mm、  
300x300mmと選択可能。



### ◆ 観察方法が豊富

落射明視野、暗視野、微分干渉、斜照明、透過明視野に対応。

- HD (High-Definition) 暗視野: とにかく明るい

暗視野。ウェハ上の異物、キズが強調され見落としづらい。

- 斜照明: 特別なアクセサリ不要で、解像力をアップ
- 落射+透過同時観察: 基板上の穴などの形状確認に最適

### ◆ 幅広いワークに対応

作動距離をニーズに合わせて選択可能で、電子部品から研磨試料、複合材料など、あらゆる試料の高さに対応します。

### ◆ 高い拡張性

快適な画像連結機能 (Navigator) や他の半導体検査装置との連携システムをニーズにあわせて提案可能。

**テストデータ取得ご依頼、問い合わせは私まで、お気軽にお声がけください。**

デモ・お見積りなどお問合せください。  
リモートデモも対応しております。

Email: [lmc@leica-microsystems.co.jp](mailto:lmc@leica-microsystems.co.jp)  
<https://xlab.leica-microsystems.com/inquiry>



メルマガ登録はこちらから

業務・作業の効率化に役立つ  
顕微鏡知識をお届けしています。



ライカ マイクロシステムズ 株式会社

本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-9  
Tel.03-6758-5656 Fax.03-5155-4333

※この製品のデザインおよび仕様は改良などのために予告なく変更する場合があります。